

## 現地視察 資料 4

ブナ科樹種のナラ枯れと萌芽への  
ヤクシカの被害状況等について



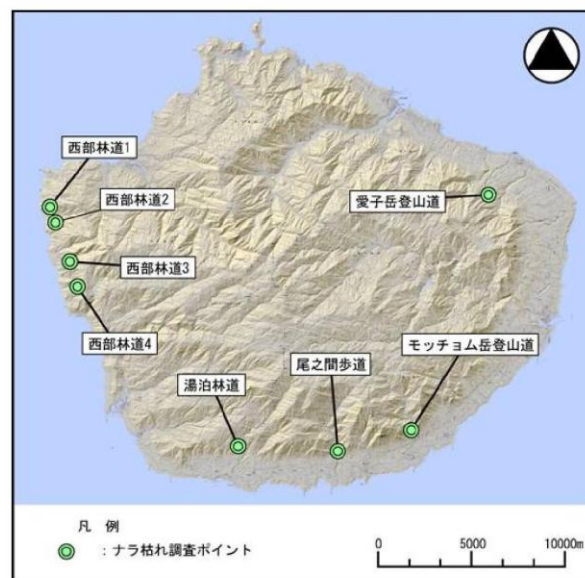
ブナ科樹種のナラ枯れと萌芽へのヤクシカの被害状況等について

ブナ科樹種の萌芽へのヤクシカ被害状況

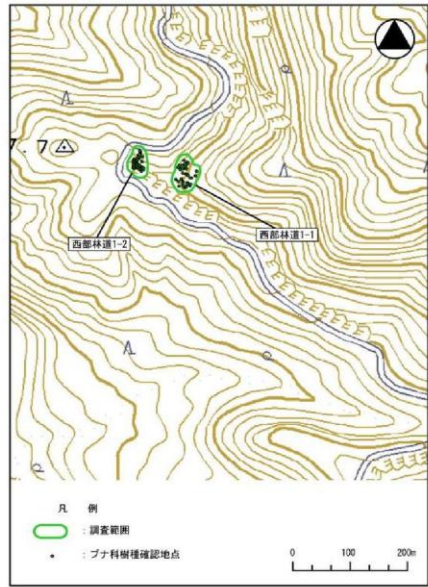


平成22年度 屋久島森林生態系保護地域における  
ナラ枯れ被害等影響調査業務報告書(平成23年3月)  
九州森林管理局

ブナ科樹種のナラ枯れ及び  
萌芽へのヤクシカ被害調査箇所

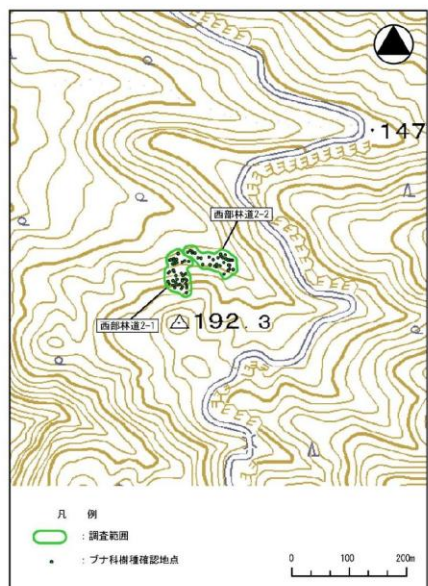


## 西部1箇所の位置と写真



マテバシイには萌芽が多く、カシノナガキクイムシの穿孔も多く見られた。根元から出ている萌芽にはヤクシカによる食害跡が多く見られた。

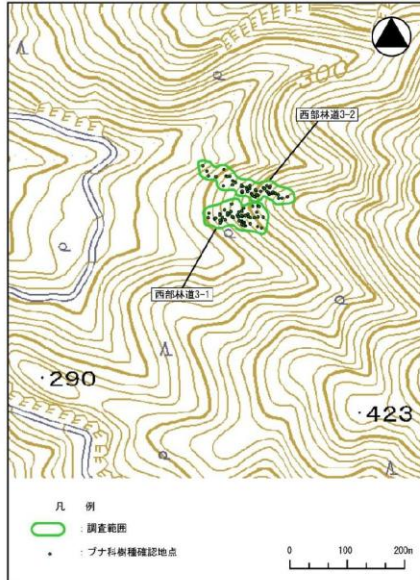
## 西部2箇所の位置と写真



この場所も西部1と同様にマテバシイが非常に多く、また、萌芽も多く見られ、カシノナガキクイムシの穿孔と樹液の流出が多数見られた。なお、萌芽にはヤクシカによる食害跡が多く見られた。

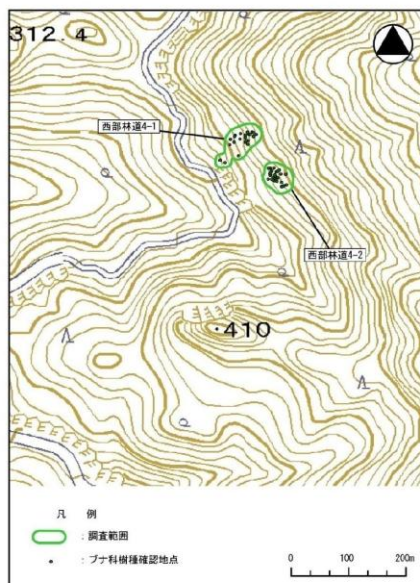


## 西部3箇所 の位置と写真



この場所は、マテバシイとスダジイが同数程度見られる。この場所のスダジイの萌芽は少ないが、萌芽はヤクシカによる食害で全て枯死している。

## 西部4箇所 の位置と写真

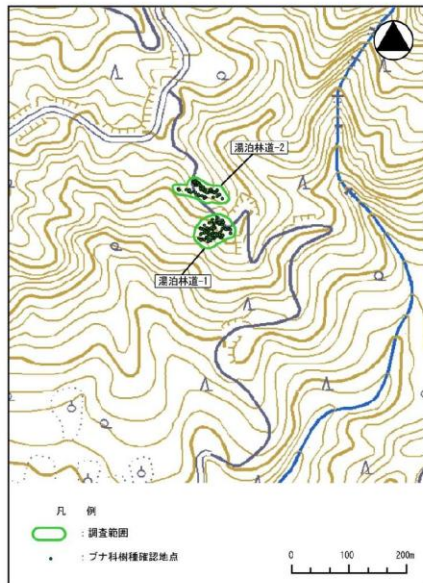


この場所は、マテバシイが多く、スダジイとウラジロガシが混生する。マテバシイやスダジイ萌芽へのヤクシカ食害が非常に多い。写真はナラ枯れによるマテバシイで根元の萌芽は全てヤクシカ食害で枯死していた。

## 西部地域4箇所のブナ科樹種の本数及びナラ枯れ被害木、萌芽木、萌芽ヤクシカ被害木の本数

場所	樹種	本数		平均胸高直径 (cm)	ナラ枯れ被害				萌芽ヤクシカ被害			
		樹種別割合 (%)	立木密度 (本/ha)		ナラ枯れ被害木 (本/ha)	ナラ枯れ被害率 (%)	ナラ枯れ枯死木 (本/ha)	ナラ枯れ枯死率 (%)	萌芽木 (本/ha)	萌芽本数率 (%)	萌芽ヤクシカ被害木 (本/ha)	萌芽の内ヤクシカ被害率 (%)
西部1	スダジイ	0.5	4	55.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	マテバシイ	92.9	757	15.5	558	73.7	22	2.9	173	22.8	146	84.6
	ウバメガシ	6.5	53	13.1	40	75.0	0	0.0	31	58.3	31	100.0
	合計	100.0	815	15.3	598	73.4	22	2.7	204	25.0	177	87.0
西部2	マテバシイ	96.9	443	21.7	193	43.5	34	7.8	223	50.3	223	100.0
	ウラジログシ	3.1	14	27.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	合計	100.0	457	21.9	193	42.2	34	7.5	223	48.7	223	100.0
西部3	スダジイ	36.5	105	39.1	53	50.7	10	9.6	3	2.7	3	100.0
	マテバシイ	49.5	142	15.6	82	57.6	26	18.2	104	72.7	104	100.0
	ウバメガシ	7.5	22	42.0	9	40.0	1	6.7	7	33.3	7	100.0
	ウラジログシ	6.5	19	42.5	9	46.2	1	7.7	3	15.4	3	100.0
	合計	100.0	288	27.9	153	53.0	39	13.5	117	40.5	117	100.0
西部4	スダジイ	20.0	61	33.9	52	85.0	12	20.0	12	20.0	12	100.0
	マテバシイ	60.0	183	16.4	109	60.0	24	13.3	88	48.3	82	93.1
	ウラジログシ	20.0	61	35.1	40	65.0	6	10.0	6	10.0	0	0.0
	合計	100.0	304	23.6	201	66.0	43	14.0	106	35.0	94	88.6

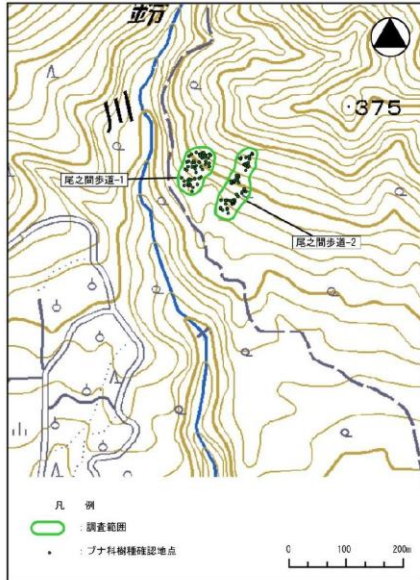
## 湯泊箇所の位置と写真



この場所はスダジイの割合が多い。スダジイの萌芽も多く見られる。半数程度のスダジイ萌芽へのヤクシカによる食害が見られる。

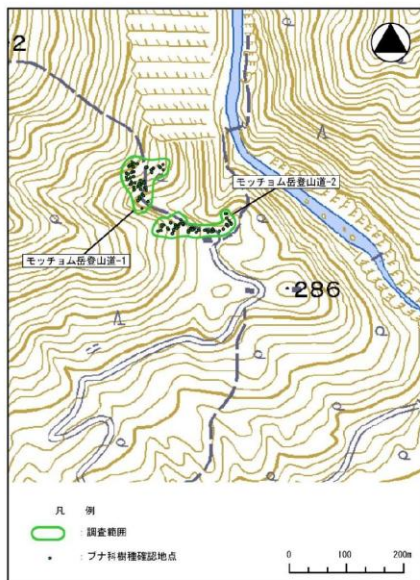


## 尾之間箇所 の位置と写真



この場所はスダジイの割合が多い。萌芽へのヤクシカによる食害割合は、ウバメガシとウラジログシが多い。写真は、ウラジログシへのカシノナガキクイムシの穿孔とフラスの状況。

## モッチョム岳登山道箇所 の位置と写真



スダジイの萌芽の状況。この場所では、萌芽に対するヤクシカによる食害はほとんど見られない。一方、ナラ枯れによる枯死木本数は最も多かった。

## 愛子岳登山道箇所的位置と写真



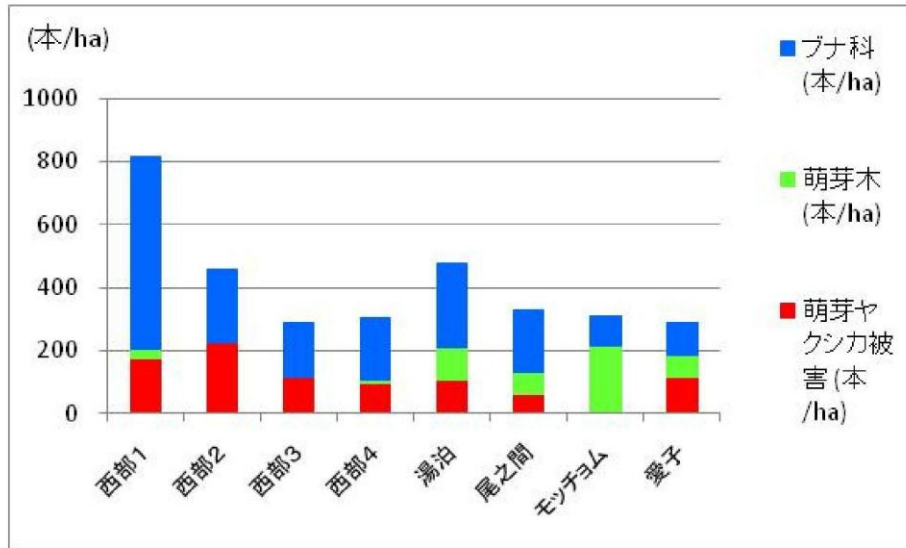
この場所は、スダジイとマテバシイが同程度の割合で生育している。萌芽へのヤクシカによる食害の割合は、西部1~4箇所程多くないものの、湯泊、尾之間よりは多い。写真は、スダジイ萌芽へのヤクシカによる食害状況。

## 南～東部地域4箇所のブナ科樹種の本数及びナラ枯れ被害木、萌芽木、萌芽ヤクシカ被害木の本数

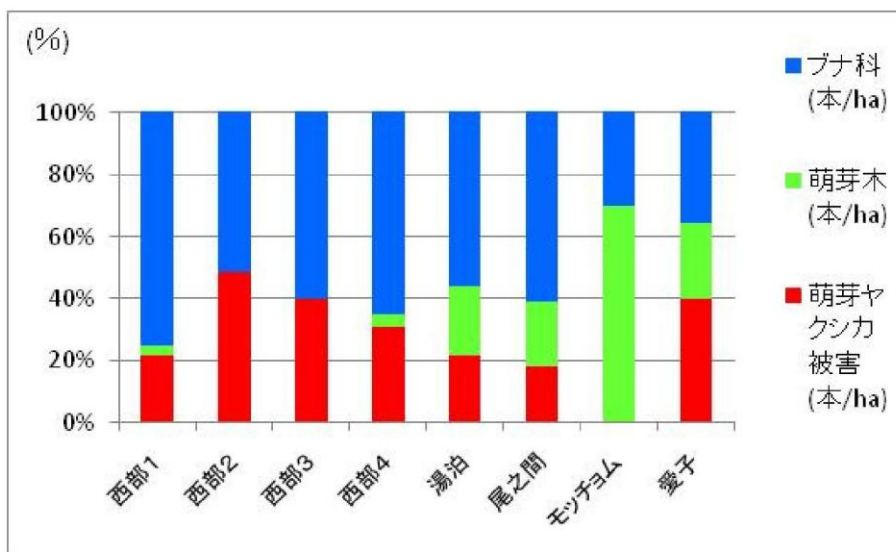
場所	樹種	本数		平均胸高直径 (cm)	ナラ枯れ被害				萌芽ヤクシカ被害			
		樹種別割合 (%)	立木密度 (本/ha)		ナラ枯れ被害木 (本/ha)	ナラ枯れ被害率 (%)	ナラ枯れ枯死木 (本/ha)	ナラ枯れ枯死率 (%)	萌芽木 (本/ha)	萌芽本数率 (%)	萌芽ヤクシカ被害木 (本/ha)	萌芽の内ヤクシカ被害率 (%)
湯泊	スダジイ	80.5	383	22.3	228	59.6	19	5.0	179	46.6	88	49.3
	マテバシイ	16.5	78	17.8	31	39.4	0	0.0	33	42.4	17	50.0
	ウラジログシ	3.0	14	17.8	7	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	合計	100.0	476	21.4	267	56.0	19	4.0	212	44.5	105	49.4
尾之間	スダジイ	79.0	261	29.3	168	64.6	38	14.6	102	39.2	48	46.8
	マテバシイ	3.5	12	14.6	5	42.9	2	14.3	8	71.4	0	0.0
	ウバメガシ	13.0	43	18.7	43	100.0	13	30.8	15	34.6	12	77.8
	ウラジログシ	4.5	15	32.6	12	77.8	2	11.1	3	22.2	2	66.0
合計	100.0	330	27.5	228	69.0	54	16.5	129	39.0	61	47.4	
モッチョム	スダジイ	66.5	204	26.6	66	32.3	43	21.1	134	65.4	2	1.1
	マテバシイ	24.5	75	15.5	15	20.4	9	12.2	71	93.9	0	0.0
	ウラジログシ	8.5	26	25.0	6	23.5	0	0.0	9	35.3	0	0.0
	アカガシ	0.5	2	55.1	0	0.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0
合計	100	307	23.9	87	28.5	52	17.0	215	70.0	2	0.7	
愛子	スダジイ	48.5	140	38.3	36	25.8	12	8.2	92	66.0	62	67.2
	マテバシイ	47.5	137	17.8	35	25.3	16	11.6	85	62.1	48	55.9
	ウラジログシ	3.5	10	26.7	1	14.3	0	0.0	9	85.7	7	83.3
	アカガシ	0.5	1	26.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	100	289	28.1	72	25.0	27	9.5	186	64.5	117	62.8	



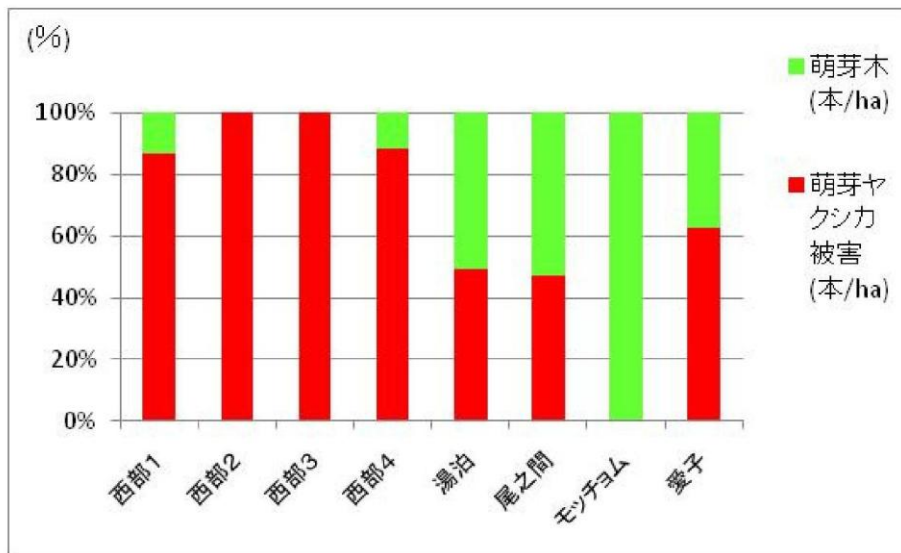
## ブナ科樹種の本数及び萌芽木、萌芽ヤクシカ被害木の本数



## ブナ科樹種の本数及び萌芽木、萌芽ヤクシカ被害木の本数割合



## ブナ科樹種の萌芽木に対する 萌芽ヤクシカ被害木の本数割合



## 西部地域のマテバシイ萌芽とボウチョウジへの ヤクシカ食害状況



### 西部地域のヤクタネゴヨウの2年生実生苗への ヤクシカ食害状況



### 西部地域のウバメガシ大径木の萌芽への ヤクシカ食害状況

